

「旭山」とサバ州 野生生物保護で調印



旭川建設業協会内に置かれた自動販売機を前に握手するアンブサバ州野生生物局長（右）と盛永協会長

旭山動物園とボルネオ島北部のマレーシア・サバ州野生生物局が10日に野生生物保護の合意書に調印したことを受け、旭川市内の民間企業にも支援の動きが広がっている。

（小川郁子）

合意書に盛り込まれた野生生物レスキューセンター設立に向け、収益の一部が設立資金となる飲料の自動販売機設置の協力を申し出る団体が続き、旭山の坂東元・團長は「（環境への）問題意識の広がりにも期待したい」と歓迎している。

自動販売機は、売り上げの5%以上がセンター設立のプロジェクト

民間企業も支援の動き

資金寄付の自動販売機 設置申し込み続々

トに寄付される。昨年9月に全国で初めて、旭山に2台設置。市内のホテルやスーパーにも置かれたほか、旭川建設業協会の会員企業にも拡大、国内30数台のうち旭川が18台を占める予定という。

調印式では、坂東團長が自動販売機の寄付をもとに、ボルネオ島の野生生物保護の現状を説明し、ジャングルを保護するための取り組みを夏に実施したいと述べた。

「ボルネオの現実 ドラマ見て」



アンブ局長（左）からボルネオの現状について説明を受ける吉田さん（右）

「奇跡の動物園物語」あす第4弾放送

旭山動物園の歩みを描いたフジテレビUHBのテレビドラマ「奇跡の動物園」のシリーズ第4弾が12日に放送される。ボルネオ島の野生生物保護支援など旭山の実際の取り組みも盛り込まれ、番組に出演する俳優吉田栄作さんが、10日に開かれた旭山とマレーシア・サバ州野生生物局との調印式に参加した。ドラマは、昨年3月

から4月にかけて約10日間の旭山ロケや、年間通じた園内の様子、ボルネオ島での撮影などで構成。山口智充さん演じる飼育係の坂内禪が、ボルネオでオランウータンを救う活動を続ける獣医師の長谷川勝人（吉田さん）を訪ね、野生生物と人間とのかわり方を考える。エゾシカの森の整備やアザラシのプールでの氷づくりの様子なども描かれた。

吉田さんは調印式で「便利でおいしく暮らしているが（撮影を通して）、ボルネオの現実を初めて知った。みなさんもドラマを見て考えてほしい」と話した。

番組は12日午後9時から10時52分まで、全ネットにて放送される。（小川郁子）